

眼科学教室業績【2021 年度】

講 演

1. 井上真：抗 VEGF 治療から手術に移行するタイミング．第 61 回大阪眼科手術の会．オンライン．2021 年 4 月 3 日．
2. Okada AA: Differential diagnosis of posterior uveitis: retinal vasculitis, white dots and serous retinal detachment” International Uveitis Study Group, Basic Uveitis Course Webinar 4. organized by Uveitis Webinar. オンライン．April 3rd. 2021.
3. 中野友哉子，片岡恵子，武内潤，堀口悦代，太田光，滝陽輔，伊藤逸毅，寺崎浩子：加齢黄斑変性に対する Treat and extend 治療下の脈絡膜新生血管の拡大．第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 8 日．
4. 武内潤，片岡恵子，中野友哉子，堀口悦代，太田光，滝陽輔，伊藤逸毅，寺崎浩子：Pachychoroid neovascularopathy に対するアフリベルセプト併用半量光線力学療法．第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 8 日．
5. 片岡恵子：OCTA を用いた新生血管形態と活動性の相関．第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 9 日．
6. 片岡恵子：Pachychoroid neovascularopathy and exudative changes. 第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 10 日．
7. 林勇海，慶野博，中山真紀子，安藤良将，渡邊交世，岡田アナベルあやめ：杏林アイセンターにおける特発性ぶどう膜炎患者の臨床像．第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 8 日-11 日．
8. 竹内正樹，河越龍方，澁谷悦子，山根敬浩，石原麻美，岩田大樹，鴨居功樹，慶野博，毛塚剛司，酒井勉，大黒伸行，岡田アナベルあやめ，川島秀俊，園田康平，高瀬博，北市伸義，南場研一，蕪城俊克，竹内大，大野重昭，後藤浩，水木信久：ベーチェット病眼病変診療ガイドラインの策定．第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 9 日．
9. 丸子一朗，田中公二，坂垣可奈子，山本亜希子，玉城環，中山真紀子，湧川空子，寺尾信宏，若月優，小野江元，小笠原雅，菅野幸紀，笠井暁仁，新竹広晃，和泉雅彦，河合萌子，丸子留佳，長谷川泰司，森隆三郎，古泉英貴，石龍鉄樹，岡田アナベルあやめ，飯田知弘：滲出型加齢黄斑変性に対する brovacizumab 硝子体内注射切替え症例の短期経過．第 125 回日本眼科学会総会．大阪・オンライン．2021 年 4 月 9 日．
10. 田中公二，丸子一朗，坂垣可奈子，山本亜希子，中山真紀子，玉城環，湧川空子，寺尾信宏，若月優，小野江元，小笠原雅，菅野幸紀，笠井暁仁，新竹広晃，和泉雅彦，河合萌子，丸子留佳，長谷川泰司，森隆三郎，古泉英貴，石龍鉄樹，岡田アナベルあやめ，飯田知弘：治療歴の

ない滲出型加齢黄斑変性に対する brolucizumab 硝子体内注射の短期成績. 第 125 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2021 年 4 月 9 日.

11. 井上真: 視神経乳頭異常合併疾患への硝子体手術. RETINA の会 特別講演. オンライン. 2021 年 4 月 10 日.
12. 厚東隆志: モーニングセミナー21 Advanced 3D Vitreoretinal Surgery〜進化の 5 年〜. 第 125 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2021 年 4 月 11 日.
13. 厚東隆志: (サブスペシャリティサンデー) PVR 手術における術中デバイスの応用. 第 125 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2021 年 4 月 11 日.
14. 太田光, 片岡恵子, 武内潤, 中野友哉子, 堀口悦代, 伊藤逸毅, 寺崎浩子: aflibercept 抵抗性の加齢黄斑変性症例における brolucizumab への切り替え効果. 第 125 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2021 年 4 月 11 日.
15. 平形明人: 網膜分離様所見の鑑別と対応. 第 162 回和歌山眼科学会. オンライン. 2021 年 4 月 18 日.
16. 北善幸: inject W 手技のポイント. iStent inject W オンライン検討会. オンライン. 2021 年 4 月 22 日.
17. Tomita A, Suzuki Y, Mitsukawa T, Hama Y, Yamada M: Stereopsis in purely refractive accommodative esotropia. ESA-ISA conference. France・オンライン. 2021 年 4 月 23-25 日.
18. Suzuki Y, Mitsukawa T, Yata N, Hama Y, Tomita A, Yamada M: Preoperative risk factor for consecutive exotropia after surgical treatment of childhood onset esotropia. ESA-ISA conference. France・online. 2021 年 4 月 23-25 日.
19. Inoue M: ARTEVO800. The first people Hospital joint meeting. Online. April 26. 2021.
20. Yamada M, Kamao T, Shiraishi A, Sakai J, Ohashi Y: Pharmacokinetic analysis of 5-FU and tegafur in tears of patients treated with S-1. 7th Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting. Osaka・online. April 28th. 2021.
21. Shigeyasu C, Yamada M, Fukuda M, Koh S, Toshida H, Oie Y, Nejima R, Eguchi H, Suzuki T, Kawasaki R, Nishida K: Severe ocular complications associated with contact lens wear in Japan. 7th Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting. Osaka・online. April 28th. 2021.
22. Kamao T, Yamada M, Shiraishi A, Sakai J, Ohashi Y: Factors related in onset of ocular complications by S-1. 7th Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting. Osaka・online. April 28th. 2021.
23. 井上真: 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫の治療戦略. Novartis Pharma Web Symposium. オンライン. 2021 年 4 月 28 日.

24. 厚東隆志：糖尿病黄斑浮腫の治療戦略. Novartis Pharma Web Symposium. オンライン. 2021年4月28日.
25. 山田昌和：AMRを考慮した眼感染症の予防と治療. 第2回琉球オプサルミックセミナー. オンライン. 2021年5月7日.
26. 大岩未来, 中山真紀子, 慶野博, 林勇海, 嶋崎鉄兵, 倉井大輔, 岡田アナベルあやめ：当院における梅毒性ぶどう膜炎治療の近況報告. 第11回東京多摩眼科連携セミナー. 東京・オンライン. 2021年5月15日.
27. 井上真：「ZIPANGU 試験から考える BRVO 診療の今後」 実臨床における BRVO 診療. Novartis Microsoft teams Web. オンライン. 2021年5月20日.
28. 井上真：黄斑疾患へのデジタル支援硝子体手術. 第104回網膜病変談話会. オンライン. 2021年5月20日.
29. 安藤良将, 慶野博, 井上真, 高橋洋如, 佐野公彦, 厚東隆志, 廣田和成, 佐藤智人, 竹内大, 平形明人：裂孔原性網膜剥離における強度近視眼と非強度近視眼の硝子体中サイトカインの比較検討. 第3回日本近視学会総会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
30. 井上真, 厚東隆志, 平形明人：強膜内固定術における眼内レンズ傾斜と眼軸長. 第3回日本近視学会総会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
31. 厚東隆志：(シンポジウム) 近視眼における網膜剥離. 第3回日本近視学会総会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
32. 鎌田紗知衣, 中山真紀子, 篠原大佑, 片岡恵子, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ：当院における近視性脈絡膜新生血管に対する治療成績. 第3回日本近視学会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
33. 満川忠宏, 鈴木由美, 百田陽介, 鈴木駿, 富田茜, 山田昌和：前眼部OCTによる低濃度アトロピン点眼前後の前眼部形態変化の検討. 第3回日本近視学会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
34. 立松由佳子, 平塚義宗, 川崎良, 山田昌和：特定健診を契機とした眼科検診受診者の屈折異常. 第3回日本近視学会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
35. 日下真吾, 厚東隆志, 水野雅春, 高橋綾, 今野公士, 井上真, 平形明人：Implantable collamer lens 挿入眼の裂孔原性網膜剥離への水晶体温存硝子体手術の一例. 第3回日本近視学会総会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
36. 水野雅春, 井上真, 石田友香, 厚東隆志, 平形明人：強度近視眼の黄斑上膜の特徴と手術成績. 第3回日本近視学会総会. 東京・オンライン. 2021年5月22日.
37. 江本宜暢, 北善幸, 齋藤恒浩, 望月司, 村井顕子, 平形明人：近視眼の原発開放隅角緑内障における視神経乳頭周囲毛細血管密度と視野障害の関連性. 第3回日本近視学会総会. 東

京・オンライン. 2021 年 5 月 22 日.

38. 井上真：近視の合併症の治療アップデート ～緑内障・網膜～近視性牽引黄斑症への外科的治療の変遷. 第 3 回日本近視学会イブニングセミナー. 東京・オンライン. 2021 年 5 月 22 日.
39. 井上真：Visualization in Vitreoretinal & Cataract surgery. 第 3 回日本近視学会ランチョンセミナー. 東京・オンライン. 2021 年 5 月 23 日.
40. 新井千賀子, 玉田俊介, 尾形真樹, 厚東隆志, 小田浩一, 平形明人：病的近視の Quality of life とロービジョンケアの実態の分析. 第 3 回日本近視学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 5 月 23 日.
41. 山田昌和：ヒトの涙液油層の機能は蒸発抑制？. 第 14 回箱根ドライアイクラブ. オンライン. 2021 年 5 月 28 日.
42. 慶野博：症例から学ぶぶどう膜炎診療. 慶大眼科木曜カンファレンス 教育講演. 東京・オンライン. 2021 年 6 月 3 日.
43. Inoue M: Two components of multiple subretinal fluid blebs after pars plana vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment. APRIS Annual meeting 2020 Virtual. Online. June 2-3. 2021.
44. 北善幸：POAG の治療について. いつから治療する？多摩地区緑内障勉強会 AYR 2021. 立川市. 2021 年 6 月 5 日.
45. 井上真：実臨床における BRVO 診療. Retina Update Meeting Online. オンライン. 2021 年 6 月 10 日.
46. 厚東隆志：糖尿病網膜症最新の話 内科・眼科の連携. 豊田加茂『糖尿病と網膜症 予防のための連携会』. 愛知. 2021 年 6 月 12 日.
47. 北善幸：チューブシャント手術ー知っておくべきことー. 第 21 回 Tokyo Glaucoma Retina joint conference. オンライン. 2021 年 6 月 18 日.
48. 井上真：BRVO 患者の長期フォロー. RVO 全国講演会. 東京. 2021 年 6 月 20 日.
49. 厚東隆志：BRVO に伴う黄斑浮腫の最新治療. 横須賀市眼科医会学術講演会 横須賀 Update Seminar. 神奈川. 2021 年 6 月 22 日.
50. 北善幸：iStent inject W のトリセツ. 第 36 回 JSCRS 学術集会モーニングセミナー（グラウコス）. オンライン. 2021 年 6 月 27 日.
51. 井上真：糖尿病網膜症へのデジタル支援硝子体手術. 第 7 回九州 DME フォーラム. オンライン. 2021 年 6 月 30 日.
52. Hirakata A: Retina world congress. Retinaws. オンライン. June 27th. 2021.
53. 大岩未来, 鈴木由美, 富田茜, 満川忠宏, 北善幸, 山田昌和：斜視術後ステロイド点眼による

眼圧への影響. 第 77 回日本弱視斜視学会総会. 横浜・オンライン. 2021 年 7 月 2 日.

54. 井上真: 3D 第 20 回 硝子体手術ビデオセミナーWeb. オンライン. 2021 年 7 月 4 日.
55. 井上真: 日本人のエビデンスから見た BRVO 診療. 網膜診療. Brush up Seminarin Yamagata. オンライン. 2021 年 7 月 8 日.
56. 岡田アナベルあやめ: ぶどう膜炎のイメージング. 特別講演. 第 34 回千葉臨床眼科フォーラム・オンライン. 2021 年 7 月 17 日.
57. 慶野博: Non-coding RNA の視点からみたぶどう膜炎の病態理解. 第 54 回日本眼炎症学会. 仙台・オンライン. 2021 年 7 月 23 日.
58. 慶野博: ベーチェット病ぶどう膜炎の鑑別診断と生物学的製剤導入のタイミング. 第 54 回日本眼炎症学会 ランチョンセミナー. 仙台・オンライン. 2021 年 7 月 23 日.
59. 佐藤康彦, 慶野博, 中山真紀子, 狩野未来, 岡田アナベルあやめ: IL-2 による実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎に対する炎症抑制効果の検討. 第 54 回日本眼炎症学会. 仙台・オンライン. 2021 年 7 月 24 日.
60. 厚東隆志: 27G HYPERVIT カッターを用いた PDR 手術. VIT Web Broadcast meeting 2021. オンライン. 2021 年 7 月 30 日.
61. 北善幸: 緑内障患者と薬. 調布市薬剤師会学術講演会. 調布市. 2021 年 8 月 5 日.
62. 平形明人: 硝子体手術症例から学ぶ. 第 20 回九州黄斑疾患研究会. オンライン. 2021 年 8 月 7 日.
63. 鈴木由美: 眼の機能・眼科疾患について学ぶ. 小児訪問看護研修会 一般社団法人全国訪問看護事業協会. オンデマンド配信期間 2021 年 9 月 1 日-10 月 31 日.
64. 平形明人: 糖尿病網膜症の診断と治療の現状. 千代田糖尿病セミナー. オンライン. 2021 年 9 月 2 日.
65. Inoue M: Surgical approach for myopic traction maculopathy. Asia Retina Congress 2021. Korea・オンライン. September 3-4. 2021.
66. Kataoka K, Takeuchi J, Nakano Y, Horiguchi E, Ota H, Taki Y, Ito Y, Terasaki H: Vascular Morphology after Aflibercept and Half-dose PDT in Eyes with Pachychoroid Neovascularopathy. 2021 Asia Retina Congress. Korea・オンライン. 2021 年 9 月 3 日.
67. Koto T: PDR surgery with 27-gauge dual-blade HYPERVIT® cutter. The 36th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress. Online. September 5-11th. 2021.
68. Hirakata A: Vitrectomy for myopic traction maculopathy. EURETINA 2021 virtual. Online. Sept 9-11th. 2021.
69. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Flow dynamics of dual-blade beveled-tip vitreous cutters during vitreous removal compared with single-blade beveled-tip vitreous cutters. EURETINA 2021. Online. September 9-12, 2021.

70. Mekjavic PJ, Acon D, Loewenstein A, Lai TYY, D'Amore PA, Daien V, Okada AA: Management of intraocular pressure elevation in patients with retinal diseases receiving intravitreal injections of anti-vascular endothelial growth factor. EURETINA 2021 Virtual Meeting. Sept 9-11th. 2021.
71. Ishida T, Inoue M, Kita Y, Koto T, Hirakata A: The findings of fluorescein angiography and optical coherence tomography of papillomacular retinoschisis in eyes with glaucoma. EURETINA 2021 Virtual Meeting. Sept 9-11th. 2021.
72. Noji S, Mizuno M, Koto T, Inoue M, Hirakata A: Characteristics of multiple subretinal fluid blebs after pars plana vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment. EURETINA 2021 Virtual Meeting. Sept 9-11th. 2021.
73. 井上真. BRVO マネージメントーZIPANGU Study からー. 12th Kanagawa Retina Forum. 横浜. 2021 年 9 月 17 日.
74. 中山真紀子, 慶野博, 岡田アナベルあやめ: コロナ禍における原田病の治療選択. ぶどう膜炎カンファレンス. 東京・オンライン. 2021年9月17日.
75. 玉城環, 田中公二, 板垣可奈子, 中山真紀子, 丸子一朗, 湧川空子, 寺尾信宏, 森隆三郎, 石龍鉄樹, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘, 古泉英貴: 滲出型加齢黄斑変性に対するブrolシズマブ治療後の脈絡膜厚短期変化. 第37回日本眼循環学会. 京都・オンライン. 2021年9月25日.
76. 堀口悦代, 片岡恵子, 武内潤, 富田遼, 中野夕哉子, 滝陽輔, 太田光, 伊藤逸毅, 西口康二: 中心性漿液性脈絡網膜症に対する半量光線力学療法が及ぼす脈絡膜血流の変化. 第37回日本眼循環学会. 京都・オンライン. 2021年9月25日.
77. 平形明人: 知っておきたい眼底疾患. 慶応大学眼科招待講演. オンライン. 2021 年 9 月 30 日.
78. 日下俊治, 井上真, 門之園一明, 前野貴俊: 強膜バックリング法 revisited. 大阪網膜硝子体研究会. オンライン. 2021 年 9 月 30 日.
79. 米谷昇子, 篠崎優子, 富田茜, 鈴木由美: 小児眼科手術におけるプレパレーションの取り組み. 第 37 回日本視機能看護学会学術総会. 沖縄・オンライン. 2021 年 10 月 1-7 日.
80. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Flow dynamics of dual blade beveled-tip vitreous cutters. American Society of Retina Specialists 39th Annual Meeting. Online. Oct. 8-12th. 2021.
81. 井上真: 硝子体手術. Ngenuity User's Meeting 2021. オンライン. 2021 年 10 月 16 日.
82. 福田泰雅, 津田麻祐子, 厚東隆志, 山田昌和: 前房型有水晶体眼内レンズ挿入術後に角膜内皮細胞密度の減少をきたした 1 例. 第 64 回多摩地区眼科集談会. 東京. 2021 年 10 月 16 日.
83. 厚東隆志: 総合教養「現代医療について考える」眼科手術の art と science ～手術教育と手術理念～. 麻布高等学校. 東京. 2021 年 10 月 22 日.

84. 北善幸：iStent inject W 手技のコツ. iStent 座談会@武蔵野. オンライン. 2021 年 10 月 22 日.
85. 井上真. 3D モニターHeads-up Surgery における画像鮮明化アルゴリズム機能搭載器の臨床的有用性について. よく見える化セミナー. 大阪. 2021 年 10 月 24 日.
86. 慶野博, 齋藤翔子, 佐藤康彦, 高崎一朗, 渡辺交世, 岡田アナベルあやめ：実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎(EAU)における血清中 microRNA 解析. 第 49 回日本臨床免疫学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 10 月 28-30 日.
87. 佐藤尚人, 向後二郎, 米田一仁, 大澤俊介, 平形明人：硝子体手術クエスチョンバンクデバイス戦略編 1 (教育講演インストラクションコース). 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 28-31 日.
88. 丸子一郎, 田中公二, 板垣可奈子, 山本亜希子, 玉城環, 中山真紀子, 片岡恵子, 湧川空子, 寺尾信宏, 若月優, 小野江元, 小笠原雅, 菅野幸紀, 笠井暁仁, 新竹広晃, 和泉雅彦, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 森隆三郎, 古泉英貴, 石龍鉄樹, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘：brolucizumab 硝子体内注射切替え症例における網膜フルイド. 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 28 日.
89. 井上真：徹底討論！最新の糖尿病網膜症・黄斑浮腫診療 2021. 「再発を繰り返す DME 難治例に対し、硝子体手術を活用」. 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 28 日.
90. 林勇海, 慶野博, 中山真紀子, 安藤良将, 渡邊交世, 岡田アナベルあやめ：杏林アイセンターにおけるぶどう膜炎患者の臨床像. 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 28 日.
91. 石田友香, 井上真, 厚東隆志, 平形明人：緑内障に伴う網膜分離症の蛍光眼底造影検査所見と網膜光干渉断層計所見の検討. 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 29 日.
92. 新井千賀子, 小田浩一, 尾形真樹, 平形明人：ロージジョンエイド処方に関するアウトカム研究. 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 29 日.
93. 井上真：診療報酬改定ヒアリングを踏まえて「日本網膜硝子体学会からの取り組み」. 日本臨床眼科学会シンポジウム 21. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 31 日.
94. 厚東隆志：術中光干渉断層計による術中診断～導入から実使用まで～. 第 75 回日本臨床眼科学会総会. 2021 年 10 月 28-31 日.
95. 安藤良将, 黄俐穎, 井上真, 平形明人：眼内長期残留アルミニウム異物による増殖性硝子体網膜症が疑われた 1 例. 第 75 回日本臨床眼科学会. 福岡・オンライン. 2021 年 10 月 28-31 日.
96. Inoue M: Next level 27+ surgery. Amplify EYE Virtual Event 2021. Online. Oct. 30th. 2021.

97. 井上真: デジタル支援硝子体手術の実践と応用. 第 20 回水道橋眼科フォーラム. オンライン. 2021 年 11 月 4 日.
98. 平形明人: 症例から学ぶ眼底疾患. Okinawa retina forum. オンライン. 2021 年 11 月 5 日.
99. 井上真: 症例から学ぶ手術治療戦略. 第 48 回福岡眼科研究会. オンライン. 2021 年 11 月 12 日.
100. 北善幸: 緑内障の画像読影アップデート. 尾張眼科セミナー2021. 一宮市. 2021 年 11 月 13 日.
101. Inoue M, Koto T, Mizuno M, Hirakata A: Iris Fluttering detected with anterior segment optical coherence tomography in eyes after intrascleral fixation. AAO. Online. Nov. 13-16. 2021.
102. 平形明人: 症例から学ぶ眼底疾患. Retina clinical meeting in 筑後 2021. オンライン. 2021 年 11 月 19 日.
103. 厚東隆志: だいたい何でも 27 ゲージ. DR Clinical Practice. オンライン. 2021 年 11 月 19 日.
104. 水野雅春: 術後未閉鎖黄斑円孔に対する再手術. 第 2 回 Surgical Retina Seminar 症例検討. オンライン. 2021 年 11 月 24 日.
105. 井上真. 特別講演「難治性黄斑円孔」. 第 6 回 SAITAMA Young Surgeons Meeting. 川越市 [MSOffice1][杏林大学医学部2]. 2021 年 11 月 25 日.
106. Keino H, Sato Y, Nakayama M, Okada AA: Effect of in vivo expansion of regulatory T cells with IL-2/anti-IL-2 antibody complex plus rapamycin on experimental autoimmune uveoretinitis. The 14th Joint Meeting of Japan-China-Korea Ophthalmologists. 東京・オンライン. Nov 27th. 2021.
107. Maruko I, Tanaka K, Tamashiro T, Itagaki K, Yamamoto A, Izumi T, Kawai M, Maruko R, Hasegawa T, Wakatsuki Y, Onoe H, Wakugawa S, Terao N, Ogasawara M, Sugano Y, Kasai A, Shintake H, Kataoka K, Nakayama M, Mori R, Koizumi H, Sekiryu T, Okada AA, Iida T: Brolucizumab treatment retention in age-related macular degeneration. 優秀演題シンポジウム 2. 第 60 回網膜硝子体学会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3 日.
108. 井上真, 厚東隆志, 石田友香, 水野雅春, 平形明人, 大鹿哲郎: Heads up 手術における画像鮮明化. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3 日.
109. 篠崎昌俊, 厚東隆志, 井上真, 平形明人: 特発性網膜血管増殖性腫瘍の臨床像と治療成績の検討. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3 日.
110. 厚東隆志: イブニングセミナー糖尿病網膜症における 27G の利点. 第 60 回日本網膜硝子体

学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3 日.

111. 太田光, 片岡恵子, 浅井景子, 武内潤, 富田遼, 中野友哉子, 堀口悦代, 滝陽輔: 加齢黄斑変性に対する aflibercept 硝子体内注射を用いた Treat and Extend 療法の 5 年成績. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3 日.
112. 平形明人: 病理組織を意識した網膜硝子体手術. 第 24 回盛賞受賞講演. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 4 日.
113. 田中公二, 丸子一郎, 玉城環, 板垣可奈子, 中山真紀子, 若月優, 小野江元, 和泉雅彦, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 湧川空子, 寺尾信宏, 小笠原雅, 菅野幸紀, 笠井暁仁, 新竹広晃, 山本亜希子, 片岡恵子, 森隆三郎, 古泉英貴, 石龍鉄樹, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘: 治療歴のない滲出型加齢黄斑変性に対する brolucizumab 硝子体内注射の 6 ヶ月成績. 第 60 回網膜硝子体学会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 4 日.
114. 武内潤, 片岡恵子, 中野友哉子, 堀口悦代, 滝陽輔, 太田光, 中村光一, 西口康二: Brolucizumab 関連眼内炎を来した 10 例の臨床像. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 4 日.
115. 滝陽輔, 伊藤逸毅, 武内潤, 伊藤寛高, 中野友哉子, 藤田愛, 堀口悦代, 太田光, 兼子裕規, 上野真治, 片岡恵子, 寺崎浩子: 黄斑上膜に対する内境界膜剥離併用硝子体手術術後の中心窩無血管域の変化. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 4 日.
116. 近藤峰生, 齋藤航, 石田晋, 國吉一樹, 上野真治, 林孝彰, 中野匡, 早川卓浩, 角田和繁, 慶野博, 岡田アナベルあやめ, 中村考介, 秋山英雄: MEWDS の日本人患者の特徴(1): 患者背景、症状および季節性について. 第 60 回網膜硝子体学会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 5 日.
117. 前田菜津子, 厚東隆志, 石田友香, 慶野博, 井上真, 平形明人: 自然寛解した小児の黄斑上膜の 1 例. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3-5 日.
118. 水野雅春, 井上真, 厚東隆志, 平形明人: 複数の眼内異物を認めた穿孔性眼外傷の 1 例. 第 60 回日本網膜硝子体学会総会. 東京・オンライン. 2021 年 12 月 3-5 日.
119. Inoue M: Color Enhancement in Digitally-Assisted Vitrectomy Surgery. PCV Summit 2021. Online. Dec. 4-5. 2021.
120. Keino H: Management considerations in viral anterior uveitis. IOIS 2021 Meeting. Greece・オンライン. Dec. 2nd. 2021.
121. Keino H: The changes of serum microRNA expression profile during the development of experimental autoimmune uveoretinitis. IOIS 2021 Meeting. Greece・オンライン. Dec 5th, 2021.

122. Hayashi I, Keino H, Nakayama M, Ando Y, Watanabe T, Okada AA : Clinical features of unclassified uveitis at the Kyorin Eye Center in Tokyo. IOIS 2021 Meeting. Greece・オンライン. December 3-5th. 2021.
123. Saito S, Keino H, Takasaki I, Watanabe T, Okada AA : Circulating microRNA alterations in serum during the development of experimental autoimmune uveoretinitis. IOIS 2021 Meeting. Greece・オンライン. December 3-5th. 2021.
124. Okada AA: “Risk factors of elevated intraocular pressure in uveitis” Invited Lecture. IOIS 2021 Meeting. Greece・オンライン. December 4th. 2021.
125. 厚東隆志 : 杏林アイセンターにおける硝子体注射の現状. Chiba Ophthalmologists Collaboration Online Academy 2021. オンライン. 2021 年 12 月 8 日.
126. Okada AA: “Update on the SUN Classification of Uveitis” Invited Lecture. The 14th Asia-Pacific Vitreo-retina Society Congress. オンライン. December 11th. 2021.
127. 厚東隆志 : DME 診療のスキルアップ. Retina スキルアップセミナー. 東京. 2021 年 12 月 12 日.
128. 厚東隆志 : ILM は弄るもの. Retina スキルアップセミナー. 東京. 2021 年 12 月 12 日.
129. 厚東隆志 : 硝子体術者の難症例水晶体手術トラブルシューティングと IOL 選択. 興和創薬社内講演会. 東京. 2021 年 12 月 13 日.
130. 篠崎昌俊, 久須見有美, 重安千花, 厚東隆志, 山田昌和 : 一時的人工角膜併用硝子体手術および角膜移植術を施行した2例. 第46回日本角膜学会総会. 金沢・オンライン. 2022年2月10日.
131. 前田菜津子, 久須見有美, 重安千花, 藤井かんな, 山田昌和 : 炭酸ガスレーザーにより眼瞼腫瘍の手術中に角膜穿孔を生じた1例. 第46回日本角膜学会総会. 金沢・オンライン. 2022年2月10日.
132. 安藤良将, 久須見有美, 藤井かんな, 重安千花, 山田昌和 : アトピー性皮膚炎患者の内眼手術における結膜嚢常在細菌叢の検討. 第46回日本角膜学会総会. 金沢・オンライン. 2022年2月10日.
133. 松本真弥, 秋山陽一, 重安千花, 久須見有美, 山田昌和 : 光干渉断層血管撮影による結膜血管密度の定量的評価. 第46回日本角膜学会総会. 金沢・オンライン. 2022年2月10日.
134. 山田昌和 : 涙液油層～蒸発抑制の観点から～. ランチョンセミナー. 第46回日本角膜学会総会. 金沢・オンライン. 2022年2月10日.
135. 山田昌和 : 涙液油層とマイボーム腺機能不全. 第20回LIME研究会. オンライン. 2022年2月18日.
136. 平形明人 : 症例から学ぶ網膜硝子体疾患. 静岡県東部眼科医会講演会. 沼津市. 2022 年 2 月 24 日.
137. 山田昌和 : 涙液油層～起源、構造、そしてその役割～. ドライアイ講習会 Tokyo 2022. オンライン. 2022 年 3 月 5 日.

138. 厚東隆志：硝子体術者の難症例水晶体手術トラブルシューティング．日本点眼研究所社内講演会．東京．2022年3月7日．
139. 日下真吾，鈴木由美，富田茜，満川忠宏，尾崎峰，山田昌和：超低出生体重児に生じた巨大な上眼瞼乳児血管腫．第47回小児眼科学会総会．東京・オンライン．2022年3月19日．
140. Inoue M: Image sharpening device in 3D Heads-up Surgery. The first people Hospital joint meeting. Online. March 21th. 2022.

論文

1. [MSOffice3][杏林大学医学部4][MSOffice5][杏林大学医学部6][MSOffice7][杏林大学医学部8]Suwa S¹, Tomita R¹, Kataoka K, Ueno S¹ (¹Nagoya University)[MSOffice9][杏林大学医学部10]: Development of Vogt-Koyanagi-Harada Disease-like Uveitis during Treatment by Anti-programmed Death Ligand-1 Antibody for Non-small Cell Lung Cancer: A Case Report. Ocul Immunol Inflamm. Apr 2;1-5. doi: 10.1080/09273948.2021.1884889. 2021.
2. Ito H, Ito Y, Kataoka K, Ueno S, Takeuchi J, Nakano Y, Fujita A, Horiguchi E, Kaneko H, Iwase T, Terasaki H (¹Nagoya University): Erratum to Association Between Retinal Layer Thickness and Perfusion Status in Extramacular Areas in Diabetic Retinopathy. Am J Ophthalmol. S0002-9394(20)30675-9. 2021.
3. [MSOffice11][杏林大学医学部12]Kita Y, Holló G¹, Narita F, Kita R, Hirakata A (¹Semmelweis Univ[MSOffice13][杏林大学医学部14]): Myopic Peripapillary Pits with Spatially Corresponding Localized Visual Field Defects: A Progressive Japanese and a Cross-Sectional European Case. Case Rep Ophthalmol. 12(2). 350-355. 2021.
4. Ito Y¹, Ito M¹, Iwase T¹, Kataoka K, Yamada K¹, Yasuda S¹, Ito H¹, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Fujita A¹, Horiguchi E¹, Taki Y¹, Yatsuya H¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University)[MSOffice15][杏林大学医学部16]: Prevalence of and factors associated with dilated choroidal vessels beneath the retinal pigment epithelium among the Japanese. Sci Rep. 11(1). 11278. 2021.
5. Kaneko H¹, Hirata N¹, Shimizu H¹, Kataoka K, Nonobe N¹, Mokuno K¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University): Effect of internal limiting membrane peeling on visual field sensitivity in eyes with epiretinal membrane accompanied by glaucoma with hemifield defect and myopia. Jpn J Ophthalmol. 65(3). 380-387. 2021.
6. [MSOffice17][杏林大学医学部18]Takeuchi J¹, Kataoka K, Shimizu H¹, Tomita R¹, Kominami T¹, Ushida H¹, Kaneko H¹, Ito Y¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University): INTRAOPERATIVE AND POSTOPERATIVE MONITORING OF AUTOLOGOUS NEUROSENSORY RETINAL FLAP

TRANSPLANTATION FOR A REFRACTORY MACULAR HOLE ASSOCIATED WITH HIGH MYOPIA. *Retina*. 41(5). 921-930. 2021.

7. [MSOffice19][杏林大学医学部20][MSOffice21][杏林大学医学部22][MSOffice23][杏林大学医学部24]Fujita A¹, Kataoka K, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Horiguchi E¹, Kaneko H¹, Ito Y¹, Terasaki H¹(¹Nagoya University): Reply. *Retina*. 41(9). e54. 2021.
8. [MSOffice25][杏林大学医学部26]Tallouzi MO, Mathers JM, Moore DJ, Bucknall N, Calvert MJ, Murray PI, Denniston AK, COSUMO Working Group (including Okada AA): Development[MSOffice27][杏林大学医学部28] of a core outcome set for clinical trials in non-infectious Uveitis of posterior segment. *Ophthalmology*. 128(8). 1209-1221. 2021.
9. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for birdshot chorioretinitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 65-71. 2021.
10. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for multiple sclerosis-associated intermediate uveitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 72-79. 2021.
11. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for Behçet disease uveitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 80-88. 2021.
12. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for cytomegalovirus anterior uveitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 89-95. 2021.
13. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Development of classification criteria for the uveitides. *Am J Ophthalmol*. 228. 96-116. 2021.
14. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for spondyloarthritis/HLA-B27-associated anterior uveitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 117-125. 2021.
15. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for serpiginous choroiditis. *Am J Ophthalmol*. 228. 126-133. 2021.
16. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for toxoplasmic retinitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 134-141. 2021.
17. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for tubercular uveitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 142-151. 2021.
18. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for multifocal choroiditis with panuveitis. *Am J Ophthalmol*. 228. 152-158. 2021.

19. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for intermediate uveitis, non-pars planitis type. *Am J Ophthalmol.* 228. 159-164. 2021.
20. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for varicella zoster virus anterior uveitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 165-173. 2021.
21. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for acute posterior multifocal placoid pigment epitheliopathy. *Am J Ophthalmol.* 228. 174-181. 2021.
22. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for syphilitic uveitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 182-191. 2021.
23. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for juvenile idiopathic arthritis-associated chronic anterior uveitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 192-197. 2021.
24. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for multiple evanescent white dot syndrome. *Am J Ophthalmol.* 228. 198-204. 2021.
25. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Am J Ophthalmol.* 228. 205-211. 2021.
26. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for sympathetic ophthalmia. *Am J Ophthalmol.* 228. 212-219. 2021.
27. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for sarcoidosis-associated uveitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 220-230. 2021.
28. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for herpes simplex virus anterior uveitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 231-236. 2021.
29. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for acute retinal necrosis syndrome. *Am J Ophthalmol.* 228. 237-244. 2021.
30. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for cytomegalovirus retinitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 245-254. 2021.
31. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for tubulointerstitial nephritis with uveitis syndrome. *Am J*

Ophthalmol. 228. 255-261. 2021.

32. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for Fuchs uveitis syndrome. *Am J Ophthalmol.* 228. 262-267. 2021.
33. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for pars planitis. *Am J Ophthalmol.* 228. 268-274. 2021.
34. The Standardization of Uveitis Nomenclature Working Group (including Okada AA): Classification criteria for punctate inner choroiditis. *Am J Ophthalmol.* 228. 275-280. 2021.
35. Umazume A¹, Ohguro N², Okada AA, Namba K³, Sonoda KH⁴, Tsuruga H⁵, Morita K⁵, Goto H¹(¹Tokyo Medical University, ²Osaka Hospita, ³Hokkaido University, ⁴Kyushu University Faculty of Medical Sciences, ⁵AbbVie GK) : Prevalence and incidence rates and treatment patterns of non-infectious uveitis in Japan: real-world data using a claims database. *Jpn J Ophthalmol.* 65(5). 657-665. 2021.
36. Sadamatsu Y¹, Ono K¹, Hiratsuka Y¹, Takesue A¹, Tano T¹, Yamada M, Otani K², Sekiguchi M², Konno S², Kikuchi S², Fukuhara S³, Murakami A¹ (¹Juntendo University, ²Fukushima University, ³Kyoto University): Prevalence and factors associated with uncorrected presbyopia in a rural population of Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. *Jpn J Ophthalmol.* 65(5). 724-730. 2021.
37. Mitsukawa T, Suzuki Y, Momota Y, Suzuki S, Yamada M: Effects of 0.01% atropine instillation assessed using swept-source anterior segment optical coherence tomography. *J Clin Med.* 10(19). 4384. 2021.
38. Fukumoto R, Inoue M, Ishida T, Koto T, Hirakata A: Adjustment of intraocular lens tilt during intrascleral fixation assisted by intraoperative OCT. *J Cataract Refract surg.* 47(10). 1308-1313. 2021.
39. Yang F¹, Hayashi I¹, Sato S¹, Saijo-Ban Y¹, Yamane M¹, Fukui M¹, Shimizu E¹, He J², Shibata S¹, Mukai S³, Asai K¹, Ogawa M¹, Lan Y⁴, Zeng Q⁵, Hirakata A, Tsubota K¹, Ogawa Y¹(¹Keio Univ, ²The Second Affiliated Hosp of Zhejiang Univ, ³Harvard Univ, ⁴Sun Yat-sen Univ, ⁵Aier Eye Hosp of Wuhan Univ): Eyelid blood vessel and meibomian gland changes in a sclerodermatous chronic GVHD mouse model. *Ocul Surf.* S1542-0124(21)00123-3. 2021.[Online ahead of print]
40. Ohji M¹, Okada AA, Sasaki K², Moon SC², Machewitz T³, Takahashi K⁴, ALTAIR Investigators(¹Shiga University of Medical Science, ²Bayer Yakuhin Ltd.,³Bayer AG, ⁴Kansai Medical University): Relationship between retinal fluid and visual acuity in patients with exudative age-related macular degeneration treated with intravitreal

aflibercept using a treat-and-extend regimen: subgroup and post-hoc analyses from the ALTAIR study. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 259(12). 3637-3647. 2021.

41. Sano M, Hirakata A, Kita Y, Itoh Y, Koto T, Inoue M: Risk factors for failure of resolving optic disc pit maculopathy after primary vitrectomy without laser photocoagulation. *Jpn J Ophthalmol.* 65(6). 786-796. 2021.
42. Takase H, Acharya NR, Babu K, Bodaghi B, Khairallah M, McCluskey PJ, Tesavibul N, Thorne JE, Tugal-Tutkun I, Yamamoto JH, Rao NA, 7th IWOS Study Group (including Okada AA), Smith JR, Mochizuki M: Recommendations for the management of ocular sarcoidosis from the International Workshop on Ocular Sarcoidosis. *Br J Ophthalmol.* 105(11). 1515-1519. 2021.
43. Sato Y¹, Keino H, Nakayama M, Kano M, Okada AA(¹ Division of Radioisotope Research): Effect of In Vivo Expansion of Regulatory T Cells with IL-2/anti-IL-2 Antibody Complex Plus Rapamycin on Experimental Autoimmune Uveoretinitis. *Ocul Immunol Inflamm.* 29(7-8). 1520-1529. 2021.
44. Keino H, Watanabe T, Nakayama M, Komagata Y¹, Fukuoka K¹, Okada AA(¹Department of Rheumatology and Nephrology): Long-term efficacy of early infliximab-induced remission for refractory uveoretinitis associated with Behçet's disease. *Br J Ophthalmol.* 105(11). 1525-1533. 2021.
45. Takase H¹, Goto H², Namba K³, Mizuki N⁴, Okada AA, Ohguro N⁵, Sonoda KH⁶, Tomita M¹, Keino H, Kezuka T², Kubono R¹, Mizuuchi K³, Shibuya E⁴, Takahashi H¹, Yanai R⁷, Mochizuki M¹, Japan ARN Study Group (¹National Defense Medical College, ² Tokyo Medical University, ³Hokkaido University, ⁴Yokohama City University, ⁵Japan Community Health Care Organization Osaka Hospital, ⁶Kyushu University, ⁷Yamaguchi University): Clinical Characteristics, Management, and Factors Associated with Poor Visual Prognosis of Acute Retinal Necrosis. *Ocul Immunol Inflamm.* 30(1). 48-53. 2022.
46. Takamura Y¹, Kida T², Noma H³, Inoue M, Yoshida S⁴, Nagaoka T⁵, Noda K⁶, Yamada Y¹, Morioka M¹, Gozawa M¹, Matsumura T¹, Inatani M¹(¹ University of Fukui, ² Osaka Medical and Pharmaceutical University, ³ Tokyo Medical University, ⁴ Kurume University School of Medicine, ⁵ Nihon University Itabashi Hospital, ⁶ Hokkaido University): The Impact of Interval between Recurrence and Reinjection in Anti-VEGF Therapy for Diabetic Macular Edema in Pro Re Nata Regimen. *J Clin Med.* 10(24). 5738. 2021.
47. Kawano S, Imai T, Sakamoto T; Japan-Retinal Detachment Registry Group(Hirakata A): Scleral buckling versus pars plana vitrectomy in simple phakic macula-on retinal

detachment: a propensity score-matched, registry-based study. *Br J Ophthalmol*. 2021.

Doi: 10.1136/bjophthalmol-2020-318451. [Online ahead of print]

48. Tamura H¹, Akune Y², Hiratsuka Y³, Kawasaki R⁴, Kido A¹, Miyake M¹, Goto R², Yamada M (1Kyoto University, 2Keio University, 3Juntendo University, 4 Osaka University): Real-world effectiveness of screening programs for age-related macular degeneration: amended Japanese specific health checkups and augmented screening programs with OCT or AI. *Jpn J Ophthalmol*. 66(1). 19-32. 2022.
49. Shigeyasu C, Yamada M, Fukuda M¹, Koh S², Suzuki T³, Toshida H⁴, Oie Y², Nejima R⁵, Eguchi H¹, Kawasaki R², Nishida K², Research Group of Severe Contact Lens-associated Ocular Complications (1Kinki University, 2Osaka University, 3Toho University, 4Juntendo University, 5Miyata Ganka Hospital): Severe Ocular Complications Associated with Wearing of Contact Lens in Japan. *Eye Contact Lens*. 48(2). 63-68. 2022.
50. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Comparisons of flow dynamics of dual-blade to single-blade beveled-tip vitreous cutters. *Ophthalmic Res*. 65(2). 216-228. 2022.
51. Ohno-Matsui K¹, Akiba M², Ishibashi T³, Hirakata A(1Tokyo Med Den Univ, 2Topcon Corp, 3Kyushu Univ): Evaluation of morning glory syndrome by swept-source optical coherence tomography. *Retin Cases Brief Rep*. 2022 . doi: 10.1097/ICB.0000000000001241. [Online ahead of print]
52. Okano K, Ishida T, Inoue M, Hirakata A: Retinal detachment and retinoschisis associated with optic disc pit in peripapillary staphyloma. *Am J Ophthalmol Case Rep*. 26. 101468. 2022.
53. Ando Y, Keino H, Inoue M, Hirota K, Takahashi H, Sano K, Koto T, Sato T, Takeuchi M, Hirakata A: Circulating Vitreous microRNA as Possible Biomarker in High Myopic Eyes with Macular Hole. *Int J Mol Sci*. 23(7). 3647. 2022.
54. Okada AA, Palestine A, Kramer M, Jabs DA, Standardization of Uveitis Nomenclature (SUN) Working Group: Reply to Comment on “Classification criteria for Behcet disease uveitis.” *Am J Ophthalmol*. 235. 339-340. 2022.
55. Hiratsuka Y¹, Ono K¹, Takesue A¹, Sadamatsu Y¹, Yamada M, Otani K, Konno S², Fukuhara S³, Murakami A¹ (1Juntendo University, 2Fukushima University, 3Kyoto University): The prevalence of uncorrected refractive error in Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. *Jpn J Ophthalmol*. 66(2). 199-204. 2022.
56. Yamakiri K¹, Sakamoto T¹, Koriyama C², Kawasaki R², Baba T³, Nishitsuka K⁴, Koto T, Terasaki H¹: Japan Retinal Detachment Registry(1Kagoshima University Graduate School

of Medical and Dental Sciences, ² Osaka University Graduate School of Medicine,³ Chiba University, ⁴ Yamagata University): Effect of surgeon-related factors on outcome of retinal detachment surgery: analyses of data in Japan-retinal detachment registry. *Sci Rep.* 12(1). 4213. 2022.

57. Nakayama M, Okada AA, Hayashi I, Ando Y, Watanabe T, Keino H : A COVID-19 Risk Reduction Strategy for the Treatment of Acute Vogt-Koyanagi-Harada Disease Utilizing the Antiviral Potential of Cyclosporine. *Ocul Immunol Inflamm.* 1-6. 2022.
58. Yogeswaran K¹, Furtado JM², Bodaghi B³, Matthews JM, International Ocular Toxoplasmosis Study Group (including Okada AA), Smith JR¹ (¹Flinders University,²University of São Paulo,³Hopital Pitie-Salpetriere): Current practice in the management of ocular toxoplasmosis. *Br J Ophthalmol.* 2022. doi: 10.1136/bjophthalmol-2022-321091.
59. Tamashiro T, Tanaka K, Itagaki K, Nakayama M, Maruko I, Wakugawa S, Terao N, Onoe H, Wakatsuki Y, Ogasawara M, Sugano Y, Yamamoto A, Kataoka K, Izumi T, Kawai M, Mori R, Sekiryu T, Okada AA, Iida T, Koizumi H; Japan AMD Research Consortium (JARC): Subfoveal choroidal thickness after brolucizumab therapy for neovascular age-related macular degeneration: a short-term multicenter study. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 2022 Jan 16. doi: 10.1007/s00417-021-05517-1.
60. Ota H¹, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Horiguchi E¹, Taki Y¹, Ito Y¹, Terasaki H¹, Nishiguchi KM¹, Kataoka K (¹Nagoya University): Switching from aflibercept to brolucizumab for the treatment of refractory neovascular age-related macular degeneration. *Jpn J Ophthalmol.* . 2022.Epub.
61. 東範行, 西田幸二, 山田昌和, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究」研究班 診療ガイドライン作成委員会: 無虹彩症の診療ガイドライン. *日眼会誌.* 125. 38-76. 2021.
62. 森賢一郎, 立花崇, 納富昭司, 石川桂二郎, 武田篤信, 大島裕司, 金本尚志, 江内田寛, 吉田茂生, 平形明人, 西田幸二, 大路正人, 木村和博, 久保田敏昭, 緒方奈保子, 松井孝明, 吉富文昭, 内尾英一, 石橋達朗, 園田康平: バイオマーカーの視覚化による疾患病態理解と治療法開発への挑戦(分担研究). *日眼会誌.* 125. 266-284. 2021.
63. 山田昌和, 東範行, 西田幸二, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究」研究班 診療ガイドライン作成委員会 (¹ 国立成育医療センター, ² 大阪大学): 前眼部形成異常の診療ガイドライン. *日眼会誌.* 125. 605-629. 2021.

64. 片岡恵子：【新しい薬剤、新しい適応】加齢黄斑変性(AMD). Retina Medicine. 10 巻 1 号. 16-21. 2021.
65. 平形明人：眼内長期滞留ガス (SF₆, C₃F₈) 使用ガイドラインについて. OCULISTA. 96. 120-126. 2021.
66. 平形明人：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 禍で影響を受けた医学部学生教育—杏林大学医学部の経験から—. 日本の眼科. 92(4). 393-397. 2021.
67. 平塚義宗, 山田昌和, 辻川明孝：アイフレイルとは. 日本の眼科. 92(9). 1099-1102. 2021.
68. 山田昌和：アイフレイル対策としてのプチビジョンケア. 日本の眼科. 92(9). 1112-1116. 2021.
69. 日下真吾, 石田友香, 厚東隆志, 斉藤翔子, 井上真, 平形明人：フェムトセカンドレーザー白内障手術後の急性眼内炎の 1 例. 眼科. 63(7). 657-662. 2021.
70. 北善幸：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 閉塞隅角緑内障. 日本医事新報. 5082. 41. 2021.
71. 厚東隆志：【ぶどう膜炎の外科的処置:入門】急性網膜壊死に合併する裂孔原性網膜剥離の硝子体手術. あたらしい眼科. 38(10). 1161-1165. 2021.
72. 重安千花, 岡田アナベルあやめ：ぶどう膜炎の外科的処置入門 硝子体手術、眼球摘出術、眼球内容除去術の術後交感性眼炎のリスク. あたらしい眼科. 38(10). 1167-1173. 2021.
73. 井上真：病診連携に基づく疾患別眼科診療ガイド 白内障術後眼内炎. 臨床眼科増刊号. 75 (11). 168-172. 医学書院. 2021.
74. 黄俐穎, 石田友香, 井上真, 尾崎峰¹, 大島直也¹, 平形明人(¹杏林大・形成外科学)：金属片による眼球二重穿孔をきたした 2 例の手術経験. 眼科. 63(11). 1097-1105. 2021.
75. 厚東隆志：【強度近視・病的近視をどう診るか】黄斑円孔網膜剥離. OCULISTA. 105. 23-29. 2021.
76. 平形明人：視神経乳頭先天異常に伴う網膜剥離に対する手術治療の方法と考え方を教えてください. あたらしい眼科. 38 (臨時増刊号). 133-139. 2021.
77. 矢田長洋, 鈴木由美, 満川忠宏, 浜由起子, 富田茜, 山田昌和：小児期発症の内斜視術後に外斜視に移行した症例の検討. 眼科. 64(4). 365-371. 2022.
78. 鈴木由美：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 睫毛内反. 日本医事新報. 5112. 50-51. 2022.
79. 厚東隆志：【網膜剥離の現在-見えてきた実像と最新の治療戦略】網膜剥離に対する手術成績. 臨床眼科. 75(12). 1627-1631. 2021.
80. 三宅謙作¹, 平塚義宗², 山田昌和 (¹眼科三宅病院、²順天堂大学)：人生 100 年時代の眼科医療と社会的コスト. 日本の眼科. 93. 20-26. 2022.

81. 井上賢治^{1,2}, 平塚義宗^{1,3}, 五十嵐勉⁴, 加藤聡⁵, 久保寛之⁶, 齋藤雄太⁷, 横田陽匡⁸, 篠崎和美⁹, 長岡奈都子¹⁰, 野田知子¹¹, 野田実香¹², 平形明人, 堀裕一¹³, 溝田淳¹⁴, 倉本慶子^{1,15}, 前田利根^{1,16}, 福田敏雅^{1,17}, 福下公子^{1,18} (1 東京都眼科医会, 2 井上眼科病院, 3 順天堂大, 4 日医大, 5 東京大, 6 東京慈恵医科大, 7 昭和大, 8 日本大, 9 東京女子医科大, 10 東京医科歯科大, 11 東京医科大, 12 慶應大, 13 東邦大, 14 帝京大, 15 小松眼科, 16 前田眼科クリニック, 17 福田眼科医院, 18 烏山眼科医院): 東京版スマートサイト「東京都ロービジョンケアネットワーク」3年目の改良と変更. 眼臨紀. 15 (3). 178-184. 2022.

著 書

1. 平形明人 (編集): 第 17 章 眼科疾患. 私の治療 2021-2022 年度版. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 日本医事新報社. 2021. 1155-1255.
2. 井上真 (分担執筆): 感染性眼内炎. 私の治療 2021-2022 年度版. 平形明人編集. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 日本医事新報社. 1196. 2021.
3. 井上真 (分担執筆): 黄斑上膜・黄斑円孔. 私の治療 2021-2022 年度版. 平形明人編集. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 日本医事新報社. 1214. 2021.
4. 山田昌和 (共編著): 前眼部写真の撮影法. 眼科検査ガイド 第 3 版. 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和編集. 文光堂. 368-369. 2022.
5. 鈴木由美 (分担執筆): 第 3 章 眼鏡・コンタクトレンズ検査. 小児の眼鏡処方. 眼科検査ガイド 第 3 版. 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和編集. 文光堂. 100-103. 2022.
6. 井上真 (分担執筆): . 第 17 章 眼底検査. 網膜硝子体の細隙灯顕微鏡検査. 眼科検査ガイド 第 3 版. 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和編集. 文光堂. 490-499. 2022.
7. 平形明人 (分担執筆): 7. 乳頭ピット (小窩) 黄斑症. OCT と OCTA が、わかる! 役立つ! 新編 眼科プラクティス 3. 近藤峰生編集. 文光堂. 72-74. 2022.
8. 井上真 (分担執筆): 白内障手術後の急性眼内炎. 眼科疾患 最新の治療 2022-2024. 村上晶, 白石敦, 辻川明孝編集. 南江堂. 191-192. 2022.
9. 厚東隆志 (分担執筆): 乳頭ピット黄斑症候群. 眼科疾患最新の治療 2022-2024. 村上晶, 白石敦, 辻川明孝編集. 南江堂. P211. 2022.
10. 井上真 (分担執筆): 7 章 網膜硝子体手術. 強膜バックリング手術 (強膜内陥術). 眼科レジデントのためのベーシック手術. 谷戸正樹編著. 日本医事新報社. 348-353. 2021.
11. 中山真紀子 (分担執筆): 「この所見見たらすぐ送る! 症例別 眼底疾患の考え方」 原田病. 眼科グラフィック 6 号. 井上真編集. メディカ出版. 654-659. 2021.

報告書

1. 山田昌和, 重安千花, 久須見有美: 分担研究報告書「前眼部形成異常の診療ガイドラインの作成と公表」, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))「前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成に関する研究」, 2021.

その他

1. 平形明人: 知っておきたい目の病気 第1回飛蚊症, 保健総合大百科 2021, 少年写真新聞社, 2021, p117.
2. 平形明人: 知っておきたい目の病気 第2回緑内障, 保健総合大百科 2021, 少年写真新聞社, 2021, p118.
3. 平形明人: 知っておきたい目の病気 第3回(最終回)白内障, 保健総合大百科 2021, 少年写真新聞社, 2021, p119.
4. 平形明人: なんでも健康相談 網膜前膜について教えてください, NHK きょうの健康 8月号, 2021, p106.
5. 平形明人: 会員追悼 藤原隆明先生を偲ぶ, 東京都眼科医会会報 第256号, 2021, 89-90.
6. 山田昌和: 暗所でTVやゲームは目に悪い?, 朝日新聞, 2022年2月12日.
7. 鈴木由美: 症例クイズ眼科編 スポットビジョンスクリーナー(SVS)による屈折検査, Medical Tribune.
8. 杏林大学医学部眼科学教室: 第3回日本近視学会総会開催, 会長 平形明人, 2021年5月22-23日, 東京.
9. 鈴木由美: 改善できる子供の弱視 -3歳児健診で早期発見を-, 岩手日日新聞, 2021年6月21日.
10. 鈴木由美: 改善できる子供の弱視 -3歳児健診で早期発見を-, 神戸新聞, 2021年6月21日.
11. 鈴木由美: 改善できる子供の弱視 -3歳児健診で早期発見を-, 苫小牧民報, 2021年6月24日.
12. 鈴木由美: 改善できる子供の弱視 -3歳児健診で早期発見を-, 北国新聞, 2021年7月1日.
13. 鈴木由美: 改善できる子供の弱視 -3歳児健診で早期発見を-, 釧路新聞, 2021年7月3日.
14. 鈴木由美: 改善できる子供の弱視 -3歳児健診で早期発見を-, 宇部日報, 2021年7月28日.
15. 北善幸: 症例クイズ眼科編, Medical Tribune, 54(14), 2021年7月15日.
16. 山田昌和: オリパラ中継に熱中、画面に釘付け 疲れ目注意, 朝日新聞, 2021年9月9日.
17. 中山真紀子: 症例クイズ②帯状疱疹の角膜炎, Medical Tribune, 54(16), 2021.